

児童発達支援事業所における自己評価結果 (公表)

令和4年2月26日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		適切です。机や椅子で仕切りを作り、人数に応じて余暇スペースを広げ、また常に換気の窓を開けています。	余暇スペースについて、児童の人数や時間帯によっては狭く感じることもあります。カーテンを設置し、学習している児童に影響の少ないよう余暇スペースを必要に応じて広げております。
	2	○		適切です。基準に則り職員配置をしています。	送迎等で職員数が手薄になる時間帯もあり、一人ひとりの職員が安全への配慮を心掛けて対応することで、児童の安全面、及び療育の質の確保を心がけております。
	3	○		児童にわかりやすく構造化された環境になっています。一部バリアフリー化されていない箇所があります。またトイレ入口に段差があります。	現在は車椅子を利用する児童が在籍しております。バリアフリー対応の必要はございませんが、今後備えて改善計画を立て準備を図り、同時に、児童が安全に利用できるように常に見守りの体制を整えてまいります。
	4	○		日々の清掃、整理整頓により、心地よい空間作りを心がけています。	今後も、より良い環境作りの為、教材や備品の整理、清掃と衛生管理を徹底してまいります。
業務改善	5	○		全員参加のリフレクション会議にて改善すべき点の検討・実施プラン・担当への割り振り・進捗の確認等を話し合っています。	引き続き、PDCAサイクルに則り、業務改善をすすめてまいります。期日の厳守、それに伴う業務の進行計画を各職員が工夫しておこなっております。
	6	○		毎年アンケートによる評価を実施し、保護者様のご意見をもとに改善に繋げています。	引き続き、保護者様のご意見を伺い、業務改善や、事業所の環境の改装等を安全面、及び療育の質の確保を心がけてまいります。
	7	○		毎年自己評価の結果は公式 Web サイトで公開しています。	今後も結果は公式 Web サイトで公開してまいります。
	8	○		現時点では第三者による外部評価は行われていません。	第三者からの評価受審については、今後の検討課題と致します。
	9	○		外部研修として児童発達支援管理者の資質向上のため、更新研修に参加致しました。	コロナ感染症が蔓延している現状ですが、外部研修ではオンライン等での研修開催の有無を確認し、積極的に参加を心がけています。職員一人ひとりが意識を持って関わられるよう、定期的に内部研修を実施しております。
適切な支援の提供	10	○		適切にアセスメントをおこない、保護者様のご意向、児童の特性を把握したうえで支援計画書を作成しています。	今後もアセスメントを適切な時期におこない、より良い支援計画の作成に繋がるよう、研修や講習へ参加し職員のスキルアップに努め、小さな変化や成長を見逃すことなく支援計画に反映できるよう、職員の意見を吸い上げた計画となるように工夫をしています。
	11	○		モニタリングに際し、標準化されたアセスメントツールを活用し、保護者様のニーズや児童に必要な支援を確認しています。	今後もアセスメントツールを使用していきます。
	12	○		ガイドラインの支援内容から適切な項目を選択し、保護者様と児童のニーズを汲み取った支援計画を作成しています。その内容はわかりやすく具体的に表示しています。	引き続き、ガイドラインに沿った支援内容を設定してまいります。
	13	○		支援計画の内容を職員で共有し、共通認識を図りながら計画に沿った支援を実施しています。	引き続き、個別支援に沿って支援をおこなってまいります。
	14	○		職員間で話し合い、活動プログラムの立案と実施しています。	今後は職員間の話し合いの場を増やし、より良い活動プログラムの立案を目指してまいります。必要に応じて、学習だけではなく、身近な危険や災害への注意喚起など、生活に関わるプログラムも導入してまいります。
	15	○		保護者様と児童のニーズを取り入れ、固定化しない様に工夫をしています。	新しい教材の作成、使い方の工夫、成果のめられた療育について職員間で共有し、固定化を回避するよう工夫しております。
	16	○		それぞれの児童に必要な支援内容として、集団と個別の活動を勘案し、作成しています。	引き続き、児童の特性や課題に合ったプログラムを検討してまいります。
	17	○		職員体制上、支援開始前に全職員でのミーティングの実施は難しいため、工夫をしてミーティングと同等の内容で、支援や当日の役割分担の確認を実施しています。	支援開始前の打ち合わせの代わりにミーティングを活用し、毎朝、職員各自で当日の予定や、療育内容を確認しています。また、職員間の連絡事項もミーティングノートを利用し、決して伝達漏れが起きないように努めております。
	18	○		職員体制上、支援終了後に全職員でのミーティングの実施は難しいため、工夫をしてミーティングと同等の支援や当日の振り返りを実施しています。	その日に気づいたことなどは職員間で共有できるように図っておりますが、ミーティングとして報告・記録ができるよう時間の工夫に努めていきます。
	19	○		日々記録をし、変化のあった内容を職員間で共有しています。	引き続き正しい記録の作成と活用を続けてまいります。未記入箇所のチェックを徹底しております。
20	○		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しています。	引き続き、保護者様の意向を汲み取り、必要に応じて計画書の見直しを行ってまいります。	
関係機関や保護者との連携	21	○		児童発達支援管理責任者が参画しています。	感染症等への十分な配慮もしながら、児発管、その他最も適した職員が参加できるよう努めてまいります。
	22	○		ケースワーカーや相談支援員と電話連絡等で連携を図っています。	引き続き個人情報に留意しながら連携に努めてまいります。
	23	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	○		保護者様の了解のもと、必要に応じて支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	引き続き、個人情報に留意しながら連携してまいります。
	26	○		保護者様の了解のもと、必要に応じて支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	引き続き、個人情報に留意しながら連携してまいります。
	27	○		児童の療育に関して、必要に応じて電話連絡にて情報共有や助言を受けするなど努めています。	コロナ感染症が蔓延している現状では、外部研修への参加は難しいと考えていますが、オンライン研修等に参加するなど、研修や助言を受ける機会を作っています。
	28	○		プライバシーの問題と、感染症へのリスクを考慮し、現状では機会を設けられておりません。	コロナ感染症が蔓延している現状では、施設との交流機会を設けることは難しいと考えておりますが、事態の収束が見られた際には検討してまいります。
	29	○		今年度はコロナ禍のため協議会への参加機会を持つことができませんでした。	コロナ感染症が蔓延している現状では難しいと考えていますが、収束後には情報収集、地域課題の発見、横の繋がりの観点から、社会情勢等を考慮しながら検討してまいります。
	30	○		連絡帳や電話連絡、また必要に応じて面談や、ご家庭への訪問で助言・支援をおこなっています。	引き続き保護者様との意思疎通、共通理解を深めてまいります。
保護者への説明責任等	31	○		プログラムとしては実施しておりませんが、保護者様の抱えるお悩みやご相談に対して真摯な対応に努めています。	今後日々の課題等については連絡帳や面談にて対応に努め、また保護者様のお悩み解決の一助となるよう、必要に応じて関係機関と繋がるような支援もおこなってまいります。今後事業所は、家族支援プログラム実施に向け、研修等を経て準備を進めてまいります。
	32	○		契約時、丁寧な説明を行っています。	今後も引き続き、丁寧な説明を心がけてまいります。
	33	○		保護者様のご意向にそって作成した支援内容について保護者に十分な説明をおこない、同意を得ています。	保護者様のご意向を汲み取り、ご説明に際しては、専門用語を避け、分かりやすく丁寧に説明してまいります。
	34	○		保護者からの子育てのお悩み等に対するご相談には、日々の連絡帳でのやりとり、送迎時や、必要に応じて面談等で、助言と支援に努めております。	今後も引き続き、丁寧なやりとりを心がけてまいります。
	35	○		コロナ禍のため、今年度は保護者会を開催できていません。	保護者会を望まれていない保護者様やお仕事の都合で参加が難しい保護者様もおられ、またコロナ感染症の蔓延により現在は保護者会の開催を予定できていません。必要に応じて個別面談など、保護者様のご要望や声に寄り添う支援に努めてまいります。
	36	○		ご相談や申し入れがあった場合は、迅速かつ丁寧に対応できるよう心がけています。	保護者様からの相談や、申し入れ等については、職員間で共有し、早期解決に努めております。また解決に向けて必要があれば本社や関係機関と連携して取り組み、解決後は苦情受付報告書を活用し、職員間で振り返り、認識一致に努めます。
	37	○		公式 Web サイトや季刊の「コンパス便り」にて情報発信をおこなっております。	防災訓練等の実施内容をお知らせとして館内掲示しております。お配りする利用カレンダーへ活動の予定を記入しております。
	38	○		十分に配慮し、プライバシーに関わる書類は、鍵付き書庫にて保管しております。申し出があれば保護者様へご説明し、同意をいただいています。	引き続き個人情報には十分に留意してまいります。
	39	○		児童とは特性に応じた適切な意思疎通手段を選択しています。また保護者様とは、日々の連絡帳や送迎時、必要に応じて電話対応にて情報伝達に努めています。	引き続き児童や保護者様との意思疎通や情報伝達を大切にまいります。
	40	○		プライバシーの問題と、感染症へのリスクを考慮し、現状では難しいと考えています。	自治会主催の消防訓練等へ職員が参加し、地域住民とのコミュニケーションを図るよう努めてまいります。
非常時等の対応	41	○		各種マニュアルは策定し、玄関先に掲示し、訓練も実施しています。	防災訓練の様子や、避難マニュアル・感染症対応マニュアルは館内に掲示し、また保護者様へもお便り等でお知らせに努めてまいります。
	42	○		年度末までに4回の防災・避難訓練を実施します。	風水害、不審者、火災、大規模災害を想定した防災訓練を実施し、その内容を保護者様へお知らせいたします。日々の療育でも、防災に関する課題を取り入れてまいります。
	43	○		事前にアセスメントシートを基に確認をしています。	一覧表の作成や、99カードの定期的な見直しを実施し、事故のないよう、細心の注意を払ってまいります。
	44	○		事業所内で食事提供はおこなわないため指示書まで提供はいたしておりませんが、事前にアセスメントシートを基に確認をしています。	今後も事故のないよう、細心の注意を払ってまいります。
	45	○		毎月のリフレクション会議にてヒヤリハット事例を検討しております。	今年度より、毎月のリフレクション会議にてヒヤリハットの検討をおこない、事例を記録していくことで、見逃されていた危険箇所が改善されてきています。
	46	○		コロナ感染症の蔓延により外部研修への参加が難しい現状ですが、今年度は、事業所内で虐待防止に関する職員研修を実施しており、さらに、行政から発信された虐待防止等に関する資料を職員全員で回覧し、周知しております。	虐待防止への認識を高め、万が一、虐待発覚時には、上長の指示のもと市区町村と連携し適切に対応していきます。
	47	○		利用契約書には身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護するため、やむを得ず身体拘束を行う場合には、あらかじめ文書により保護者様の同意を得ることとされています。契約時には保護者様へ身体拘束についてご説明し、理解を得ています。	身体拘束に関しては、職員間で共通認識を持ち、保護者様との同意なく実施はおこなわないよう十分に配慮してまいります。万一必要と判断された場合、保護者様へ十分な説明に努め、同意を得て、個別支援計画にも記載してまいります。

○この「事業所における自己評価結果 (公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。